

2 山、川、海をとりまく課題について

沖縄における現状の問題点及び課題点を把握し、今後の整備方針等の策定に反映する。

項 目	課 題
安全・安心	未整備区間や普通河川での浸水被害、都市部での内水氾濫の頻発
	島尻泥岩地帯の大規模地すべり等の影響
	追いつかない施設整備
	危険箇所への居住地の拡大
地球温暖化	地球温暖化による洪水・土砂災害・高潮被害等の激化への懸念
	地球温暖化による水利用（水資源・エネルギー等）への影響
	サンゴリーフの衰退に伴う防災機能の低下
ソフト対策	自然災害や防災に対する意識が不足
	各種提供防災情報の活用
維持管理	施設の老朽化による機能低下や災害誘発、水利用への懸念
	整備済み施設等の維持管理、利活用に向けた取り組み
地震・津波	地震による既存施設への影響
	地震・津波に対する備え
水資源	離島における水不足の懸念
	増加する人口及び観光客数に対応する安定的な水資源確保
環境・景観	沖縄らしい個々の河川特性に配慮した多自然型川づくり
	流域一環となった赤土砂流出対策の取り組み
	外来種の問題
	河川横断工作物による回遊性生物の回遊阻害
	河川直接取水による河川環境悪化
	中南部の河川を中心とした水質の向上
	地域を主体とした自然再生事業の展開
	沖縄らしい風景への配慮
	河川へのアクセス性、親水空間の更なる充実
	市街化に伴う都市河川平常水の減少
観光	観光ニーズに対応した質の高い整備
	ダムを利用した観光振興との連携
住民参加	有識者・各種河川愛護団体との連携・支援体制の強化
	地域と河川の関わりの希薄化（県民の川に対する意識低下）